

JCI-TC-083A「混和材料から見た収縮ひび割れ低減と耐久性改善に関する研究委員会」
第5回 全体委員会議事録

日時：2009年6月12日（金）

場所：JCI 会議室

参加者：（敬称略）名和委員長，山田幹事長，閑田主査，久田主査，石川主査，石川，谷村，
大谷，福留，中山，兼松，二戸，野々目，小田部，陣内，川端，吉田，丸山，檀，
井上（議事録），福林（事務局）

資料：5-1 議事次第

5-2 研究委員会名簿

5-3 第4回全体委員会議事録(案)

5-4 JCI年次大会委員会報告用ポスター

5-5 委員会活動報告（名和委員長）

5-6 第3回WG2議事録

5-7 第2回，第3回WG3議事録

議事（主な内容のみ記載）

1. 新メンバーの紹介他

（株）デイ・シイの二戸委員，（財）日本建築総合試験所の吉田委員の紹介があった。

山田幹事長の人事異動の連絡があった

追記：芝浦工業大学伊與田岳史助教をメンバーに加える報告をなすべきであった(WG未定)。事務局は新名簿を配布。

2. 第4回議事録（案）について確認がなされ、以下の4項目を修正の上、承認された。

1) 新任の高橋委員、WG3 WG2のメンバー

2) 小早川委員 小早川様（委員参加はなし）

3) 試験期間 試験機関

4) p.2, L1「一般に流通している成分」 「高炉スラグは一般に流通している成分（石コウ無しとはしない）」

3. 委員会HPについて

・ 浅本委員の協力により種々の情報がアップされた。

4. JCI年次大会時の委員会報告ポスターについて

・ 幹事団により完成。若干の修正箇所は当日に対応する（2段目のWG名（ひび割れ）（耐久性），規格・施工WG内の林委員の名前削除など）

・ ポスター説明員、初日のみ必要。 閑田幹事をお願いします。

5. 委員長挨拶および研究委員会資料（資料5-5）の説明があった。

6. 研究委員会WG報告

1) WG2について、資料5-6にて山田幹事長より説明。

・ 川端委員，吉田委員，両新規委員の紹介

・ ASTM C 1157の制定経緯の説明

混合セメントの規格としてスタートし、1998年に普通セメント等を加えて現在の形になった。また、同種のものがニュージーランドにある（NZ3122：1995）

- ・ 吉田委員より、硫酸塩劣化の説明 次回、全体委員会にて話題提供頂く。
 - 2) WG4 について、石川主査より説明。
 - ・ 建築学会収縮委員会の収縮データを入手した。
 - ・ 各学協会のまとまったデータ、委員保有データ等を今後集めて、分析していく予定。
 - 3) WG2 に関連して、セメントのひび割れ抵抗性について、丸山委員より、検討中の試験方法についての説明があった。
 - ・ 1:1 モルタルを使用し、JIS の拘束ひび割れ試験の縮小版として検討（全長 120×幅 39mm）。
 - ・ WG1 ではコンクリートでのひび割れ抵抗性を評価し、WG2 ではセメントのひび割れ抵抗性を評価するものとしていきたい。
 - ・ 拘束度は、材料にインバー鋼を用いた場合で 20%程度。
 - ・ この寸法で、断熱時に温度上昇が、ひび割れの発生する程度に生じるか？との質問に対して、次回データが取れていれば報告することとなった。
 - 4) WG3 について、資料 5-7 にて陣内委員より説明。
 - ・ 3月、5月に2回 WG を開催。
 - ・ 収縮ひび割れよりも耐久性に重点をおいて調査をする予定。建築、土木各々で論文の調査を開始し、「養生」とそれによる組織形成の違いに着目している。
 - ・ 委員個々の行っている研究を取り込んでいくことを検討している。
 - 5) WG1 について、閑田主査より、13時から開催された WG の決定事項の説明
 - ・ 試験方法を予備試験により決定した。JCI 自己収縮委員会法に準じた試験とする。
 - ・ 試験体大きさは、安全をみて全長 1100mm（試験区間 300mm+定着 400mm×2）とする。
 - ・ 型枠を 1 週後に脱型する乾燥収縮を主とした試験とし、自己収縮の扱いはオプションとする。
 - ・ 今後、セメント、混和材料の手配を行う。
7. 次回日程 他
- ・ 次回全体委員会：9月24日（木）13:00～17:00 但し WG 1 を兼ねる（JCI 会）。
 - ・ 午前中に、WG 2 , WG 3 , WG 4 を、それぞれ 10:00～12:00 で開催する。
 - ・ WG 4 は、6月26日の午前中にも開催予定。
 - ・ 話題提供予定：吉田委員より硫酸塩劣化について
丸山委員よりひび割れ試験速報(データが出ていれば)
ご都合がつけば、横浜国大 細田先生（山田幹事長より）
 - ・ WG 1 に関連した実験データが出ていれば、持参する。

<文責 井上>